

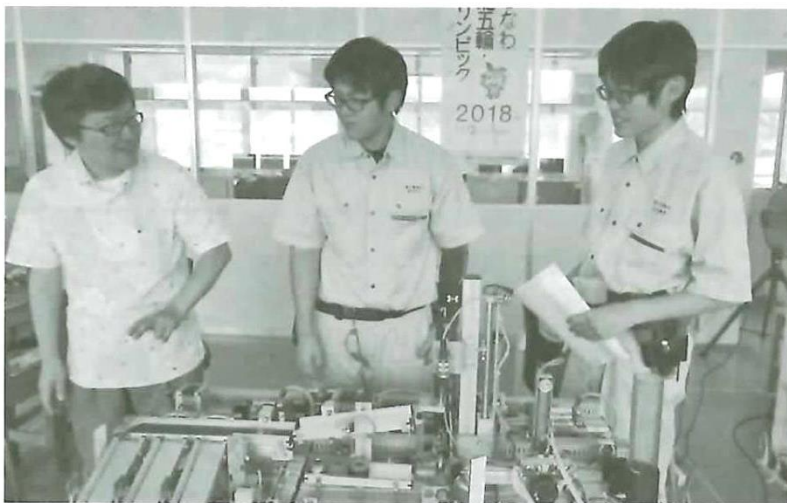


電子機械科

(週刊 沖縄建設新聞 提供)

休日返上で技術研鑽

生徒らに指導を行う平畑氏(左端)



沖工生徒らがメカトロ練習会

2017年6月28日(水)発行

メカトロ合同練習会

県立沖縄工業高校は10日、富士電機株(東京都)の平畑昭人氏を講師に招き、メカトロニクス実技練習会を開催した。同校では、生徒らの技能向上を目的に、昨年からは民間企業の技術者を講師に招き、同講座を定期的実施。現在では、那覇工業高や美来工科高の生徒らとの合同練習なども行っている。

メカトロニクスは、機械工学製品にマイコンコンピュータなどの電子工学技術を加えた電子機械工学の総称。全国技能五輪などでも、2人1組で生産設備の模擬装置製作や、その補修技術などが競われている。

平畑氏は「人材育成や技術継承への支援は、会社の方針でもあることから、講師を引き受けた。技術的な指導は、特に吸収力の高い高校生に行うことが最も効果がある。プログラミングと補修技術との連携などを重点的に指導していきたい」と話した。

沖繩工高電子機械科の上間淳教諭は「通常の練習だけでは思うように指導ができていないことから、平畑氏に、月に1度週末のご指導を依頼した」と説明。さらに昨年、同校生徒が若年者ものづくり競技大会のメカトロニクス部門で優勝したことも、練習会の成果と強調した。

同校の青柳僚真君は「8月に愛知県で開催される若年者ものづくり大会に出場予定なので、指摘された改善点を身に付け、スキルアップを図っていきたい」と話した。

